

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

科目名		ナンバリング		区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論Ⅵ		NSF22_005		必修	1	2	前期
担当教員		研究室		電子メール ID		オフィスアワー	
山本 富士子 他		研究室 402		fujiko.yamamoto		金曜日 12：10～13：00	
授業の目的・概要		疾病治療論では、看護の対象理解に必要な疾病の成り立ちと病因、症状を理解するとともに、診断に必要な検査、治療法、予後について学ぶ。 疾病治療論Ⅶでは、女性生殖器、小児に特有の疾患に関して、臨床で経験する頻度の高いものを中心に理解を深める。					
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☒ 講義 ☐ 演習 ☐ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ 遠隔授業（双方向型） ☐ 実習 ☐ 実技 ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 遠隔授業（自主学習） ☐ その他（					

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する。			試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。 必要に応じてフィードバックの時間を確保する。	
レポート	①						
成果発表	①						
ポートフォリオ	①						
その他	①						
備 考							
他 担 当 教 員		本科目における連絡調整を行う教員：山本富士子					
教 員 の 実 務 経 験		担当は豊富な実務経験を積んだ医師である。					
実践的授業の内容		各回とも臨床経験に基づいた診断・治療についての講義を行う。					
そ の 他		・当科目は複数の教員が単元ごとに授業を担当するオムニバス形式となっている。 ・科目担当者は医師もしくは看護師としての実務経験を積んだ教員である。 ・社会情勢等によってシラバスは再度変更される可能性がある。 ・授業開始時に全体オリエンテーションを行う。					